

令和元年度自治体SDGsモデル事業⑦

岡山県西粟倉村 森林ファンドと森林RE Designによる百年の森林事業Ver.2.0

森林信託事業による森林の集約化や、森林経営にそぐわない民有林について経済価値を判定した上での公有林化等を通し、地域全体の森林価値の最大化と最適化を目指す。資金調達にあたっては森林ファンドを組成するとともに、投資家を関係人口として位置づけ巻き込むことで、地域の持続可能性を向上させる事業にも好影響を与える。

<取組課題>
木材安定供給
森林資源平準化

<取組課題>
関係人口拡大
レジリエンス強化

三側面をつなぐ統合的取組

森林ファンドと森林RE Designによる
百年の森林 Ver.2.0

経済

社会

森林ファンド

森林Re Designによる
村有林化

森林施業 間伐・皆伐

村有林拡大による
自然林更新・経済林効率化

環境

エネルギー

森林

<取組課題>
環境林拡大
森林資源の多様化・効率化

森林価値
最大化

山林
レジリエンス
強化

森林事業
拡大

再生可能
エネルギー利用

森林
最適化

利益の
リターン

利益の
リターン

福祉・教育

防災・減災

人材育成

- ソーシャルビジネスローカルベンチャー（福祉・教育等）
- 天然林化防災機能（レジリエンス強化）
- さとのば大学 ローカル研究所

百年の森林構想



定住しなくて、
いいんです。



ローカルベンチャー

村産材を使った
ローカルベンチャー製品

- 移住+起業
- 関係人口
- 森林

- ローカルベンチャー（移住+起業）
- 基幹宿泊施設（関係人口拠点）
- 森林関係事業（拡大+安定化）

- 7 気候変動に具体的な対策を
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 15 陸の豊かさを保ち増進させる